

庄内町下水道設計基準

管種	・ 硬質塩化ビニル管（VU） ※自然流下管で開削工の場合に限る。						
管径と勾配	(1)本管 $\phi 200\text{mm}$（2.0‰）を標準とする。 ※排水量を満たせば $\phi 150\text{mm}$（3.0‰）でも可とする。 (2)取付管 $\phi 100\text{mm}$（10.0‰）を標準とする。 ※集合住宅等は、$\phi 150\text{mm}$（10.0‰）とする。						
最小土被り	・ 本管 1.0m（車道部・歩道部共通） ※行き止まりは、本管 0.8m ※国道、県道の場合は道路管理者との協議による。						
マンホールの最大設置間隔	・ 100mを基本とする。 ※起点及び中間点に、小型マンホールを設置する場合は、80m						
マンホール	・ 0号マンホール 起点及び中間点（深さ 2.0m以下） ・ 1号マンホール 中間点及び会合点 ・ 小型マンホール（$\phi 300\text{mm}$）（塩ビ及びレジン） 起点及び中間点（深さ 2.0m以下）※ただし、小型マンホールは、連続して使用しない。						
人孔蓋	車道の場合 T-25 歩道その他の場合 T-14						
副管	(1)設置基準 流入管と流出管の管底高の差が 0.60m 以上ある場合には、流入管径に応じた副管をマンホールの流入管側に設ける。 (2)副管径 副管径は流入管径の 1 サイズダウンを標準とする。 (例) <table border="1"> <thead> <tr> <th>流入管径（mm）</th><th>副管径（mm）</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>200</td><td>150</td></tr> <tr> <td>150</td><td>100</td></tr> </tbody> </table>	流入管径（mm）	副管径（mm）	200	150	150	100
流入管径（mm）	副管径（mm）						
200	150						
150	100						
公共枳	・ 塩ビ製公共枳 $\phi 200\text{mm}$（標準深さ 80 c m、最小深さ 60 c m） ・ 蓋は、庄内町マーク入り仕様とする。						
宅内配管	・ 塩ビ管 $\phi 100\text{mm}$、勾配 20.0‰						